令和７年度分　指定管理者総合モニタリング評価表

施設	塩尻市ふれあいセンター広丘		
所在地	塩尻市大字広丘堅石２１５０番地１		
指定管理者名	社会福祉法人塩尻市社会福祉協議会		
指定期間	令和７年４月１日　～　令和１２年３月３１日　　（５年間のうち１年目）		
募集方法	非公募	施設担当課	健康福祉部　地域共生推進課

１ 業務実績（指定管理者）

当初計画	実　績
【地域福祉活動の推進とネットワーク構築】	【地域福祉活動の推進とネットワーク構築】
１　総合相談事業	１　総合相談事業
・相談件数　1,000件	・相談件数　（健康相談を除く）　1,100件
	・相談内容ごとの延べ相談件数
	福祉相談　６９５件
	ボランティア相談　２６件
	有償福祉サービス　２０９件
	福祉教育　３０件
	地域支援　１０６件
	介護相談　３４件
	健康相談　4,981件
	・相談形式
	電話　３６４件
	訪問　１１９件
	来所　４４４件
	会議　８１件
	講座・イベント　７３件
	（来所件数に健康相談は含まない）
２　講座の開催	２　講座の開催
・地域福祉講座　２回　３０人	自助・共助について考える防災講座　１０回　１４１人
・地域支え合い講座　２回　３０人	
３　地域支え合い支援	３　地域支え合い支援
	居場所立ち上げおよび伴走支援
	・オレンジカフェかたおか　３回
	・吉田おはなし会　１回
４　社協支部分会や関係団体等との連携	４　社協支部分会や関係団体等との連携
	支部総会　３地区
	片丘地域づくり協議会総会　１回
	支部福祉懇談会　３地区
	支部福祉懇談会　３地区
	広丘支部情報共有会議　１回
	民生児童委員協議会への参加　４地区　１６回
	吉田1区分会役員福祉研修会　１回
	野村分会福祉委員・協力員合同研修会　１回
	高出1区役員研修会　１回
	住民福祉活動支援
	・吉田カレー大作戦　４回
	・吉田ぶらりーの　３回
５　福祉学習の支援	５　福祉学習の支援
	公民館事業との協力
	・吉田公民館親子キャンプ　２回
	・サマースクール公民館　１回
	・オレンジカフェ片丘　３回
	・チラシ等にてそれぞれの事業PR　随時

１ 業務実績（指定管理者）

当初計画	実　績
	学校福祉教育への協力
	・片丘小学校　２回
	・広丘小学校　１回
	・広陵中学校　１０回
	・丘中学校　３回
	・市内３高校文化祭にてフードドライブ実施　各校　１回
	・志学館高校しおじり学協力　１回
６　有償福祉サービス事業実施	６　有償福祉サービス事業実施
・サービスのコーディネート実施	市全体の実施内容
・依頼を通じて地域課題を把握し、共有と解決に取組む	・サポーター登録人数　５５人
・担い手の発掘と育成	・延活動人数　２３７人
	・活動時間　２５８．５時間
	・新規相談　３０件
	・新規利用登録　１４人
	・活動内容
	草取り、ゴミ出し、買い物、室内掃除、話し相手等
	しおりんサポーター連絡会　２回　１３人
	サポータースキルアップ講座　１回　７人
	有償福祉サービス事業打合せ　７回
	事業の周知
	ケアマネジャー勉強会１回、民生児童委員地区会３地区
	高齢者の集い７か所、滞在型交流拠点ento
	北部圏域の実施内容
	・サポーター登録人数　２９人
	・延活動人数　１６０人
	・活動時間　１６５時間
	・新規相談　１１人
	・新規利用登録　７人
７　災害対策事業	７　災害対策事業
	・高出５区地区防災訓練参加・備蓄品確認　２回
	・「めざせ防災マスター」講座開催　１０回　１４１人
	・医ケア児等避難訓練協力　１回
【利用者の福祉の増進】	【利用者の福祉の増進】
１　講座の開催	１　講座の開催
・高齢者生きがい講座	・高齢者生きがい講座（５講座）　延べ６０回　７９７人
	吉田、片丘、原新田、堅石・郷原、高出
・介護予防講座　月１回４講座	・介護予防講座（４講座）　延べ４８回　８８１人
	音楽で元気に、背骨コンディショニング、銭太鼓
	からだリフレッシュ
・多世代ふれあい講座	・多世代ふれあい講座（２講座）　延１２回　１６４人
	クラフト講座、ふれあい交流講座
２　介護予防、認知症対策に関する事業実施	２　介護予防、認知症対策に関する事業実施
・ふれあい交流講座（一般向講座）　２回１００人	・ふれあい交流講座（一般向講座）　２回　延べ１１５人
・運動による介護予防講座	・運動による介護予防講座　１２グループ延1,164人
・オレンジカフェ開催　２４回	・オレンジカフェ開催　２４回　４５７人
	（うち、認知症当事者）　（５７人）
・認知症介護相談　２４回	・認知症介護相談　２４回　１２人
	・認知症サポーター養成講座講師　２回
３　地域交流事業の実施	３　地域交流事業の実施
・ふれフェス（ふれあいフェスティバル）開催　１回	・ふれフェス開催　１回　２２７人
４　多世代の交流と居場所の機会をつくる	４　多世代の交流と居場所の機会をつくる
・ふれひろハッピーアワー　１２回	・ふれひろハッピーアワー　１２回　１７８人
・若い世代の居場所　等	・若い世代の居場所　１０回　９２人
５　福祉に関する啓発	５　福祉に関する啓発
	・アルツハイマー月間への取組み　１回
	（認知症啓発コーナー設置）

１ 業務実績（指定管理者）

当初計画	実　績
	・第６次地域福祉活動計画周知（アンケート実施）
６　団体利用の会場提供	６　団体利用の会場提供 福祉関係団体に会場を提供 延７００団体　9,860人
７　バス運行業務	７　バス運行業務 延１５０回　1,494人
８　利用者からの意見聴取の実施	８　利用者からの意見聴取の実施 利用者ｱﾝｹｰﾄ（一般利用者、講座受講者、団体利用者）年１回 社会福祉協議会苦情解決に関する委員会　年１回 ご意見箱の設置　２２件
【世代間交流事業】	【世代間交流事業】
１　ふれあいセンター広丘地区交流事業	１　ふれあいセンター広丘地区交流事業 ・ふれフェス開催　１回　２２７人 ・ふれひろハッピーアワー　１２回　１７８人 ・若い世代の居場所　１０回　９２人
２　図書コーナーの利用	２　図書コーナーの利用　１２９冊
【喫茶・食堂の運営】	【喫茶・食堂の運営】
（１）憩いの場・食事の提供 営業時間１１時３０分から１３時３０分 休館日を除く火曜日から日曜日	（１）憩いの場・食事の提供 営業時間１１時３０分から１３時３０分 休館日を除く火曜日から日曜日 営業日数　２９７日 販売食数　6,851食 売上金額　4,463,820円
（２）障害者就労支援事業所利用者の訓練の場の提供	（２）障害者就労支援事業所利用者の訓練の場の提供 ホール業務を就労継続支援事業所みどりが丘に委託
（３）障害者就労支援事業所製品販売協力	（３）障害者就労支援事業所製品販売協力 ４事業所の製品を常設 ・地元産新鮮野菜販売　レタス、キャベツ等 ・寄付野菜の利用　約５０件 家庭栽培で使いきれない野菜の寄付を呼びかけ利用
【施設維持管理】	【施設維持管理】
１　管理保守点検等業務 ・建築物保守管理業務　１回／週 受電設備点検業務　１回／２月 消防用設備点検業務　２回（４・１２月） １回（１２月） エアコン保守点検業務　２回（６・３月） 自動ドア保守点検業務　3回（7・11・3月） ボイラー保守点検業務　２回（１０・３月） 自主点検管理　１回／週 ろ過装置保守点検業務　２回（７・３月） 自主点検管理　１回／週 循環用配管洗浄　１回（３月） ・備品等保守管理業務 ・清掃業務　２回／月 ６日／週 ・植栽等維持管理業務　随時 ・環境衛生管理業務　１回（３月） ヘアキャッチャー清掃(職員)　毎日 浴槽水質検査(専門業者)　２回（８・２月） 浴槽水質(残留塩素)測定　４回／日	１　管理保守点検等業務 ・建築物保守管理業務 職員による目視での点検　１回／週 受電設備点検業務　１回／ ２月 消防設備点検　２回（５・１２月） 防火対象物点検　１回（１２月） エアコン保守点検　２回（９・３月） 自動ドア保守点検　3回（7・11・3月） ボイラー保守点検　２回（１０・３月） 自主点検管理　１回／週 ろ過装置保守点検　２回（７・３月） 自主点検管理　１回／週 循環用配管洗浄　１回（３月） ・備品等保守管理業務 マイクロバス車検年１回、法定３か月点検実施 厨房機器点検（１０年経過業者点検） ・清掃業務 専門業者による清掃　２回／月 日常清掃　６日／週 ・植栽等維持管理業務 庭清掃、下草刈り(職員)、除草剤散布　随時 ・循環用配管清掃　１回（３月） ヘアキャッチャー清掃(職員)　毎日 浴槽水質検査(専門業者)　２回（９・３月） 浴槽水質(残留塩素)測定　４回／日

１ 業務実績（指定管理者）

当初計画	実　績
ネズミ、害虫駆除　２回（７・１月）	ネズミ、害虫駆除　２回（７・１月）
２　修繕業務	２　修繕業務
	適宜市担当課に連絡、実施
	自動塩素測定器故障、浴室換気扇スイッチ交換
	ペレットボイラーポンプ交換、厨房水道修繕
	火災時誘導灯バッテリー交換、
	マイクロバスステップ・制御灯動作異常
	利用料変更による受付システム、券売機更新
３　警備業務	３　警備業務
	警備会社に委託
４　除雪業務	４　除雪業務
	職員により実施
５　集金業務	５　集金業務
	入浴料は券売機にて精算
【防犯、防災、緊急時の対応】	【防犯、防災、緊急時の対応】
・消防計画により訓練実施　２回（１０・３月）	・消防計画により訓練実施　２回（１０・３月）
	・高出5区との連携作り（防災訓練参加、防災倉庫確認）
【職員研修】	【職員研修】
	・社会福祉協議会職員研修
	救急法　１５人
	交通安全研修　１２人
	発展・強化推進研修　３人
	管理職研修　１人
	健康管理研修　４人
	・職場外研修
	関東ブロック社協職員合同研修　１人
	コミュニティにおけるソーシャルワーク力強化研修　１人
	松本ブロック社協職員研修会（防災等）　２人
	地域共生社会に関る研修　３人
	安全運転管理者研修
	・職場内研修
	利用者対応について　１２回
	社協事業、経理について　１回
	分会事業理解（補助事業、ボランティア保険等）

２ 施設の利用状況(指定管理者)

利用区分等		利用目標	今年度実績（ア）	前年度実績（イ）	対前年（ア）／（イ）
開館日数		303日	303日	304日	99.7%
施設利用者数（全体）		39,000人	44,373人	43,791人	101.3%
施設利用者数（団体）		39,000人	9,903人	9,557人	103.6%
施設利用者数（個人）			31,054人	31,142人	99.7%
施設利用者数（講座）			3,416人	3,092人	110.5%
入浴者数		22,200人	26,466人	25,743人	102.8%
入浴券売上		5,772,000円	7,259,700円	6,685,800円	108.6%
健康相談		5,000人	4,981人	5,003人	99.6%
総合相談（健康相談除く）		1,000人	1,100人	1,020人	107.8%

３ 利用目標の達成状況に対する評価・分析(指定管理者、施設担当課)

指定管理者の評価・分析	・施設利用者数（全体）は44,373人となり、利用目標である39,000人を大きく上回り、目標達成率113.8%（対前年比101.3%）となった。特に「入浴者数」は26,466人（目標比119.2%）、「入浴券売上」は令和８年４月からの値上げに備えた買いだめの影響があり7,259,700円（目標比125.8%）と大きく伸びた。「福祉相談」については1,100人（対前年比107.8%）と順調に推移しており、地域住民の健康増進と福祉の拠点として成果があった。 ・今年度は、指定管理者として地域コミュニティへ直接出向くアウトリーチを増やした。地域の高齢者の集い、民生児童委員地区会等へ足を運び、施設機能や相談窓口の周知を実施した。例えば、地域での「入浴に困る高齢者がいる」という要望から講座のバスを利用して施設への移動手段を提案し、継続的な施設利用（居場所）につながった。 ・団体利用が好調な反面、個人利用者が僅かに減少傾向にある。次年度は、それぞれの年代を意識した情報発信を行い、個人利用の底上げを図りたい。
施設担当の評価・分析	・アウトリーチ活動を通じて地域住民のニーズを的確に把握し、個々の生活課題に対する相談支援や移動支援へ繋げた実績を高く評価する。今後も、住民に寄り添った丁寧な対応と継続的な周知活動を行い、福祉の総合相談窓口として広く認知、活用されることを期待する。 ・利用者数（全体）、入浴者数ともに目標を大幅に達成している。一方で、団体利用と比較して個人利用が僅かながら減少傾向にある。この減少要因について（利用ニーズの変化や利便性等）、分析を行うとともに、SNSやチラシ等を活用したターゲット層別の情報発信を強化し、多様な住民が利用しやすい運営体制を構築していただきたい。

４ 収支状況(指定管理者)

（単位：円）

	項　目	当初計画	実績（ア）	前年度実績（イ）	対前年（ア）／（イ）
収入	・指定管理料収入	47,914,000	47,859,284	39,836,440	120.1%
	・参加費収入	6,000	4,050	6,400	63.3%
	・利用料収入	5,772,000	7,260,000	6,685,800	108.6%
	・雑収入	109,000	139,564	296,207	47.1%
	・拠点区分間繰入金収入	341,000	196,020	0	皆増
	収入計（Ａ）	54,142,000	55,458,918	46,824,847	118.4%
支出	・人件費	27,991,000	28,077,682	23,675,580	118.6%
	・保健衛生費	146,000	110,465	116,461	94.9%
	・教養娯楽費	48,000	32,400	32,400	100.0%
	・水道光熱費	7,318,000	6,410,492	6,379,521	100.5%
	・燃料費	5,029,000	4,373,600	3,877,500	112.8%
	・消耗器具備品費	654,000	562,548	509,104	110.5%
	・器具及び備品費	377,000	196,020	0	皆増
	・保険料	312,000	329,399	311,370	105.8%
	・賃借料	159,000	158,400	158,400	100.0%
	・車輌費	385,000	292,920	169,133	173.2%
	・職員被服費	11,000	0	10,626	皆減
	・諸謝金	1,752,000	1,532,350	1,511,730	101.4%
	・旅費交通費	10,000	3,050	3,545	86.0%
	・研修研究費	48,000	17,100	9,500	180.0%
	・事務消耗品費	93,000	82,720	131,370	63.0%
	・印刷製本費	37,000	38,500	36,025	106.9%
	・修繕費	600,000	445,284	355,960	125.1%
	・通信運搬費	351,000	317,579	303,726	104.6%
	・会議費	24,000	3,340	9,238	36.2%
	・業務委託費	3,619,000	3,100,244	2,949,209	105.1%
	・手数料	73,000	70,710	46,733	151.3%
	・保険料（火災）	12,000	11,504	11,257	102.2%
	・賃借料	263,000	235,477	181,829	129.5%
	・土地・建物賃借料	139,000	138,240	138,240	100.0%
	・租税公課	3,000	1,800	2,000	90.0%
	・保守料	1,520,000	1,553,234	1,509,200	102.9%
	・諸会費	16,000	16,000	16,000	100.0%
	・雑支出（退職年金事務費等）	48,000	50,364	37,824	133.2%
	・退職手当、年金共済掛け金	1,289,000	1,288,230	968,374	133.0%
	支出計（Ｂ）	52,327,000	49,449,652	43,461,855	113.8%
	収支（Ａ）－（Ｂ）	1,815,000	6,009,266	3,362,992	－
	・事務諸経費	1,128,000	3,828,743	3,362,992	113.8%

５ 財務状況を示す指標（指定管理者）

指　標	当年度	前年度
自己資本比率　（資本/資産×100）	81.3%	82.8%
負債比率　（(流動負債＋固定負債)/資本×100）	23.1%	20.8%
固定比率　（固定資産/資本×100）	100.4%	95.0%
流動比率　（流動資産/流動負債×100）	403.3%	516.2%
総資産経常比率　（経常利益/総資産×100）	-0.3%	1.2%

６ 職員の配置状況（指定管理者）

当初配置計画	配置実績
所長　１名（常勤） 相談員　２名（常勤） 支援員 看護師 運転手 受付業務員 調理員 防火管理者 安全運転管理者 衛生推進員 食品衛生管理者 （いずれかの職種が兼務）	所長　１名（常勤） 相談員　２名（常勤） 支援員　３名 看護師　４名 運転手　４名 受付業務員　４名 調理員　４名 防火管理者　１名 安全運転管理者　１名 衛生推進員　１名 食品衛生管理者　１名 （いずれかの職種が兼務）

ふれあいセンター広丘

所　長

相談員	２名
支援員	３名
受付業務員	４名
看護師	４名
運転業務員	４名
調理員	４名

７ 自主事業の状況（指定管理者）

当初計画	実　績
ふれあいセンター広丘まつり	ふれフェス開催（３センター共催）　１回　２２７人
アンケート調査　１回／年	アンケート調査　講座参加者　各１回 団体、個人利用者　各１回
苦情解決に関する委員会	苦情解決に関する委員会　１回
すみれ食堂　就労支援事業所生産品等販売協力	就労支援事業所４事業所の生産品常設販売 季節の地元野菜を販売 ゆずりあいボックスの設置 （利用者の提供する自分では使わない物品を使いたい方に提供し、SDGｓを推進） 居場所の開催 ・ふれひろハッピーアワー　１２回　１８２人

８ 評価（指定管理者、施設担当課）

評価点は５段階としており、仕様書・事業計画等に対する達成度から判断します。
例えば、計画どおりの達成度であれば評価点は「３」となります。
評価項目の性質で、付けることができる評価点が制限されている項目があります。

評価点	達成度
５	120 % 以上
４	101 ～ 119 %
３	81 ～ 100 %
２	61 ～ 80 %
１	0 ～ 60 %

（１）実施体制 健康福祉部 地域共生推進課

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
施設運営状況	1	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	2	施設の目的が十分機能しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	3	施設の利用者数や稼働率は適正か	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
危機管理体制	4	避難経路が適切に確保されている等、利用者の安全が確保されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	5	危機管理に関するマニュアル等が整備され定期的に訓練等を行っているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	6	事故・災害等の緊急時の連絡体制は確立されているか	1	2	③	4	－	1	2	③	4	－
職員体制	7	仕様書等に従った人員（人数、有資格者）を配置しているか	1	－	③	4	－	1	－	③	4	－
	8	スタッフのシフトは適正であるか（労働基準法を遵守しているか）	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	9	事業計画書に則した教育・研修を実施したか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
記録・情報管理体制	10	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	11	協定書等で定められた事業計画書・報告書等を提出しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	12	情報公開に関する規定が整備されているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	13	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	14	個人情報保護に関する規定が整備されているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	15	個人情報等の管理は適切か	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	16	情報漏えいを防止する仕組みや対応策が講じられているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
（１）評価点合計（16項目）			50					50				

（２）収支等の評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
経理状況	17	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	18	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	19	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	20	利用料収入などの現金管理等が適切に実施されているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
収支状況	21	事業収支は妥当か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	22	財務状況を示す指標の異常値、大幅な変動がないか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	23	計画どおりに経費節減の取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	24	計画以外に経費節減に向けた取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
（２）評価点合計（8項目）			24					24				

（３）サービス等の内容や水準に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
利用者へのサービスの状況	25	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	26	言葉づかい、態度、服装等の接遇は適切か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	27	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当か	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	28	利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	29	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	30	施設のホームページは効果的に運用されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	31	利用方法をわかりやすく説明できる仕組みができているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
事業の実施状況	32	事業計画書に則し、指定管理事業を実施しているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	33	施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	34	各事業への参加や施設利用促進に向けた取り組みを積極的に行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
維持管理状況	35	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生の点検・管理を適切に行っているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	36	施設や設備の点検・管理を適切に行い、履歴を適切に整理・保管しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	37	必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	38	市と指定管理者の備品が明確に区別されており、台帳により適切に管理されているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	39	外部委託内容は事前に市の承認を受けており、委託先に協定書等を遵守させているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	40	省エネルギー、省資源等環境への配慮がされているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
（３）評価点合計（16項目）			51					51				

※No.39は外部委託がある場合のみ評価する。

（評価点の総計）

評価点総計（満点164点）	指定管理者	125点	76.2%	施設担当課	125点	76.2%

８（総括）評価に対する考え方（指定管理者、施設担当課）

評価項目	評価項目No.とその評価点を付けた理由			
	No.	指定管理者	No.	施設担当課
（１） 実施体制	3	利用目標に対し113.8%達成し、団体利用者を中心に施設利用者が増えている。	3	団体利用の取り込みに成功しており、地域における活動拠点として役割を果たしている。
	5	法人防災計画、BCPマニュアルに従い訓練、見直しを実施。地元区と協力し防災倉庫の点検と防災訓練に参加。	5	地域と一体となった防災体制の構築がされている。引き続き、福祉避難所としての細かな運営について共に体制を整えてもらいたい。
	9	事業実施に必要な研修を実施。法人内で連携して開催することで、救急法などを含めた幅広い研修に参加し事業にいかすことができた。	9	職場内外における幅広い研修を継続的に実施しており、相談支援および施設管理の質の維持・向上に努めている。
（２） 収支等の評価	17	法人の会計規則に則り、適正に管理している。	17	適正な管理に努めることができている。
	20	複数職員の確認と担当課による管理にて適切に管理している。	21	物価高騰により燃料費や光熱水費が高騰する中、利用者の快適性と安全性を優先しながら、細やかな管理によって経費削減に努めている。今後も厳しい状況が予想されるため、持続可能な運営体制について共に検討していけるとよい。
	21	更新に伴う指定管理料の増があり、本年度の収支状況においては適正な予算執行により黒字決算となったが、法人への事務費繰入と、自主活動であるすみれ食堂の赤字を考慮すると収支は均衡となっている。	24	物価高騰により燃料費や光熱水費が高騰する中、利用者の快適性と安全性を優先しながら、細やかな管理によって経費削減に努めている。今後も厳しい状況が予想されるため、持続可能な運営体制について共に検討していけるとよい。
（３） サービス等の内容や水準	29	苦情、要望に関しては受け止めるという姿勢で対応し、職場内にて共有しており、対応が容易な事象についてはできる限りの対応をしている。	29	利用者の声を丁寧に聞き取り、改善を試みる姿勢は利用者満足度向上に寄与している。また、施設として質の向上にも影響している。
	32	事業計画書に則し施設管理、地域福祉活動推進、交流の場としての取り組みを実施した。	32	団体利用の取り込みに成功しており、地域における活動拠点として役割を果たしている。また、世代間交流を目的とした事業を取り入れ幅広い層の居場所となっている。
	35	施設の経年劣化等あるが、清掃、衛生に努め利用者から「きれいで気持ちがよい」との評価を受けている。	35	経年劣化の中でも清潔な環境が保たれており、利用者からの評価も高い。丁寧な管理運営を高く評価する。

９ 総合評価（指定管理者、施設担当課）

指定管理者	■自己評価 ・今年度は、目標を上回る44,373人（達成率113.8%）の方に利用していただけた。スタッフから地域へ直接出向くアウトリーチ活動により、福祉相談が増加し、地域のリアルなお困りごと（入浴の移動手段など）を解決する具体的な成果を上げられたことは、指定管理者として成果を実感できる取り組みとなった。団体利用の中では地区講座が減少傾向にあり、地域での元気作り広場との連携等今後の在り方が課題である。部屋利用等の利用は順調で、地域における活動拠点としての役割を果たすとともに地域での住民による福祉活動が増えていると認識する。センターとして、片丘や吉田の地域での居場所支援とともに、認知症当事者、介護者が参加するオレンジカフェ広丘を活動や支援の拠点となるよう取り組みをした。 ・財務面においては、自主財源の確保と効率的な予算執行により、適正な黒字決算を達成した。しかしながら入浴券の売り上げは入浴料改定に伴う駆け込み需要で一時的なものであり、近年の燃料費等物価の高騰、適正な人員配置を確保するための人件費上昇、施設の経年劣化に伴う設備修繕コストなどを考えると、当法人の自助努力だけでは対処困難である。
	■今後の改善策（短期的に対応可能なもの） 団体利用が好調だった一方で、個人利用がわずかに減少傾向にあることを課題としている。来年度は幅広い年齢層に向けた情報発信にチャレンジし、個人利用の底上げを目指す。ホームページ、インスタグラム、チラシ等の利用に取り組む。
	■今後の改善策（長期的に取り組むことで課題解決を図るもの） 地域共生社会の構築に向けて、ふれあいセンターに期待されている施設管理業務と地域福祉活動推進業務について体制、業務内容、費用などを検討し、担当課と共有する中で他の２館との整合、連携を図りながら長期的な計画をたて、事業継続を目指す。
施設担当課	・地域へ直接出向くアウトリーチ活動により、潜在的なニーズを掘り起こし、具体的な解決へ導いた実績は地域福祉の拠点として高く評価する。また、地域団体との密な連携および伴走支援を通じて、住民主体の活動を促進している点も成果である。地域によって課題や活動状況が異なる中、それぞれの地区の特色を汲み取ったきめ細やかな支援を継続していただくとともに、次世代の担い手育成や活動の掘り起こしについても、引き続き主体的に取り組んでいただくことを期待する。 ・今後は、物価高騰による厳しい経営環境を踏まえ、市と連携をしながら、福祉サービスの提供と経営の安定を両立させるための持続可能な体制作りに取り組んでいただきたい。